



いきいき ふるさと

発行／古里住民自治協議会 発行者／金子 祐三 編集／広報委員会 第55号



個性を生かし、住民主体の地域づくりを

古里住民自治協議会 会長 金子 祐三

本年度、古里住民自治協議会の会長を務めさせていただき金子でございます。よろしくお願い申し上げます。

古里住民自治協議会は、設立後 12 年目を迎えました。その間、先輩の役員の方々のご尽力と、住民の皆様のご協力により充実度の高い住自協に育てていただきました。心から感謝でございます。

住民自治協議会設立の考え方は「自分たちの地域は自分たちでつくる」ことを基本理念とし、地区の個性を生かし、住民主体のまちづくりをしていくことだと言われております。

古里住民自治協議会は「誰もがこの地に住むことに誇りを感じ夢と希望が持てる地域づくり」をテーマとし、福祉活動計画を基に支え合い活動の具体化、安心安全な地域づくり、子どもたちが安心して学べる支援づくり、地域資源を生かした特色ある地域づくりなどに積極的に取り組んで来ていますが課題も多くあります。

住民の皆様のお声を生かし、行政連絡区との連携を密にし、各種団体の皆様のご協力をいただき役員一同協力しながら課題に対して積極的に取り組んでいきたいと思っています。活動内容をより多くの住民の方々に知っていただき、かつ参画いただくことが大切なことと思っています。皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

退任にあたり

古里住民自治協議会 前会長 村山 武夫

この度、古里住民自治協議会の会長を退任させていただきました。これまで皆様方のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

古里村の誕生から 130 年という歴史と伝統のあるこの古里地区も、時代の流れとともに少しずつ変化してきております。

長野市都市内分権推進計画に基づき組織・運営されてきました古里住民自治協議会は、それぞれ課題もありますが概ね軌道に乗ってきており、大きな夢と希望があります。

新しい金子会長のもとで関係機関の皆様と連携を密に一致協力して、さらなる地域の発展と住民自治協議会の充実を願って退任のご挨拶とさせていただきます。

令和元年度 事業計画 (2019年度)

古里住民自治協議会は設立以来、「この古里地区に住むことに誇りを感じ、夢と希望が持てる地域づくり」を進めるため、「自分たちの地域は自分たちでつくる」ことを基本理念にして、中核事業を定め積極的に対応してまいります。

○ 中核事業 1 「高齢者の孤立化防止と避難行動要支援者への対応」

高齢者の皆さんが生きがいをもって明るく過ごせるように、避難行動要支援者の皆さんが安心して生活できるように、地域福祉ワーカーや民生児童委員など関係の皆さんと連携して事業を進めます。

○ 中核事業 2 「大災害に備えた防災体制の構築」

自然災害や非常時における避難・救急体制の構築を進め、安心・安全な地域づくりを進めます。

○ 中核事業 3 「子どもたちの健やかな成長と青少年の健全育成」

地域の「子どもを守る会」や「学校」との連携のもと、次代を担う子供たちの育成を支援します。

総務部会



総務部会長
小林 信重

古里住民自治協議会の さらなる発展をめざして

古里住民自治協議会は設立12年目となり、5月1日からは元号も新たに「令和」となりました。今年度も急速に進む少子高齢化や地震・水害など突然見舞われる非常時への対応等、取り組まなければならない課題は多々ありますが、第二次古里地区地域福祉活動計画を基に策定した「支え合い活動計画」での、お互いに助け合う仕組みづくりにより「誰もが安心して生活できる安全な地域づくり」をめざし事業を推進してまいります。

総務部会では、毎月定例的に開催される会議を通し、各部会、支部（区）及び関係諸団体との連携を図り、それぞれの活動が円滑に進むよう組織運営を進めると共に、住民自治協議会や関係諸団体の事業内容等をお知らせする広報活動と環境美化活動を推進してまいります。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 市・県など行政機関との連携
- 住民自治協議会の組織・運営の統括
- 支部活動の充実
- 広報誌「いきいきふるさと」の発行 年5回
- 環境美化活動の推進

安心安全部会



安心安全部会長
佐伯 治夫

安心して生活できる安全な 地域づくりの推進

新元号「令和」を迎え、安心安全部会の中核事業の（2）である「大災害に備える防災体制の構築」を基本に交通安全、防犯、防災の3委員会及び区担当の防災指導員の皆様と連携し事業を推進してまいりますので、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。地震、洪水等いつどこで発生しても不思議でない大災害に対処できるように、また被害の軽減に向けた体制の確立に取り組んでまいります。

〈主な事業は次のとおりです〉

- 防災委員会
大規模災害を想定した防災訓練（情報収集に基づく救出・救護・煙体験及び避難所設営など）、防災講演会（演題…気象情報を学び災害に備える）、土嚢作り。
- 交通安全委員会
交通安全マナーアップ運動（毎月第一水曜日・古里小前、大下橋前）、白線引き・カーブミラーの清掃、イベント開催時の駐車場案内・交通安全指導、新入学児童への交通安全標語入り記念品の贈呈。
- 防犯委員会
夏季・年末防犯パトロールの実施（区・防犯委員会）、警察・防犯協会への協力（年末防犯・飲酒運転防止啓発イベントに参加）。

福祉健康部会



福祉健康部会長
松倉 英文

支え合い活動の ボランティアを

古里地域のすべての住民の皆様が、健康で心豊かな幸せを感じられる地域を目指し、中核事業1「高齢者の孤立化防止と避難行動要支援者への対応」を目標とし、民生児童委員、赤十字奉仕団等の関連諸団体との連携のもと地域の皆様のご協力をいただきながら、事業を推進してまいります。どうかよろしくお願い申し上げます。

「古里地域の福祉活動計画」、「支え合い活動計画」が策定され、それらを実施していくためには地域の皆さんのボランティアによるご協力が不可欠です。古里地区にはボランティアセンターが設立されていませんが、近い将来の設立に向けてボランティアの募集を行いますので多くの皆様のご登録をお願い致します。また、緊急時や災害時の安否確認等の支援体制を築いていく必要があ

りますので、各区で区長さんを中心に体制づくりをお願い致します。

〈主な事業は次のとおりです〉

- 避難行動要支援者の見守り・安否確認や災害弱者への支援活動
 - お茶のみサロン ●防災訓練への参加
- 住民の健康維持向上、病気予防、福祉活動等に関する啓発活動
 - ふれあい健康づくり講座 ●健康講座、健康体操
 - 社会を明るくする運動 ●古里地区福祉大会
 - 男性のための料理教室 ●介護者の集い
 - 「いつわ苑祭り」へのボランティア活動協力
- 住民相互の「絆」を大切にする各種交流、支援事業
 - やさしさとふれあいの集い
 - 新入学祝い品の贈呈
 - 母子、父子家庭への浴場招待券の贈呈
 - 子育てサロン ●要援護者への年末慰問
 - 東北三地区福祉自動車運行及び家事援助

文化教育部会



文化教育部会長
小木曾 弘常

世代を超えて郷土愛を育む 地域づくりを目指して

本年度も中核事業の一つのである「子どもたちの健やかな成長と青少年の健全育成」を目標に掲げ、四つの委員会や他の部会、地域の諸団体及び小中学校との連携を密にして事業を推進してまいります。

青少年と高齢者が世代を超えて共に学び、楽しい活動を通して郷土に対する愛着や誇りが持てるような地域づくりを目指していきたいと思います。地域住民の皆様の一層のご支援とご協力をお願い致します。

○公民館活動委員会

- ・地域親善球技大会・ゴルフ大会
- ・成人祝賀会・囲碁将棋大会・文化芸能祭
- ・古里かるた大会・人権教育研修会(各地区)

○育成会活動委員会

- ・各地区合同交流会(スポーツ大会等)

○青少年育成委員会

- ・更生施設等研修
- ・青少年健全育成事業(各地区)
- ・東北中下校時あいさつ運動
- 及び子ども見守り活動

○人権共生委員会

- ・古里地区人権住民集会

ふるさと部会



ふるさと部会長
丸山 文昭

特色ある地域づくりの 推進を目指して

本年度の事業計画基本方針に掲げている「ふるさとの歴史や伝統を活かした特色ある地域づくり」の推進を目指して、主に4つの事業を実施してまいります。

1. ホタル観賞会

昨年と同様に北部スポーツ・レクリエーションパーク北の田子川・土京川で行ないます。実施日は6月22日(土)の予定です。大勢の皆さんのご参加をお願いします。

2. 水仙の植栽事業

北部スポーツ・レクリエーションパークの入口付近をメインに、子どもからお年寄りまで参加いただき、皆さんと協力して水仙を植栽し地域を花いっぱいにとしようと平成29年から3年計画で実施している事業です。今年は最終年です

ので大勢の皆さんのご参加をお願いします。実施時期は10月20日(日)を予定しております。

3. AKB事業(A歩いて、K考え、Bビューティフルな地域づくりの実現を目指して)

当協議会が作成した「古里地区史跡マップ」に基づき、各地区の史跡、遺跡、名所等の案内をする看板の設置を平成29年、30年と実施してまいりました。本年度も各地区のご意見をお聞きしながら継続実施いたします。

4. 「(仮称)特色ある地域づくり」委員会の設置と開催

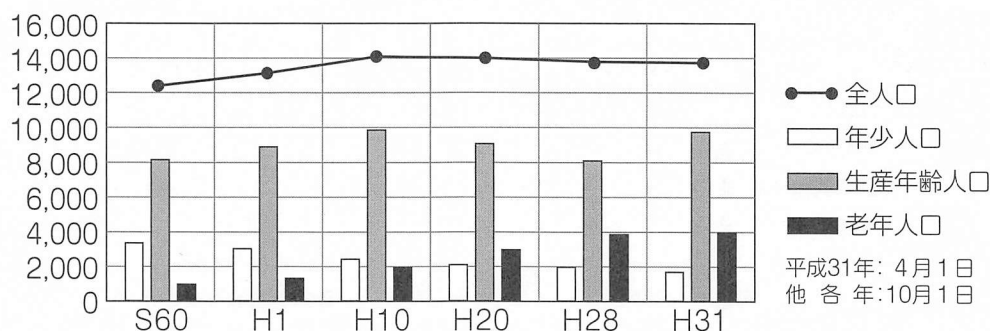
昨年10月に長野市と古里住民で地域の課題・要望等を話合う「ながの未来トーク」において住民自治協議会が提出した「北部幹線の開通と地域の活性化」提案に基づき沿線の地域活性化について研究調査を行う委員会を立上げ検討を開始いたします。

令和元年度 古里住民自治協議会 主な役員

会 長	金子 祐三	総務委員(三才区長)	大澤 好明	福祉健康部会長	松倉 英文
副会長(総務部会長)	小林 信重	々 (西三才区長)	小湊 裕	福祉委員長	平野 誠
事務局 長	大澤今朝幸	々 (新町区長)	小橋 元春	健康委員長	山下まゆみ
財務委員 長	北條 勤	々 (第二団地区長)	藤沢 勇夫	文化教育部会長	小木曾弘常
監 事	中村 和好	広報委員長	長崎夫与志	公民館活動委員長	中野 正明
監 事	柄澤 和夫	環境整美委員長	小林 陽一	育成会活動委員長	倉澤 裕史
総務委員(富竹区長)	吉村 守視	安心安全部会長	佐伯 治夫	青少年育成委員長	刀根川康伸
々 (金箱区長)	川俣 健一	交通安全委員長	磯部 弘樹	人権共生委員長	菊池 榮二
々 (下駒沢区長)	小林 信重	防犯委員長	倉石 久登	ふるさと部会長	丸山 文昭
々 (上駒沢区長)	宮下 富雄	防災委員長	原 秀盛	ふるさとづくり委員長	今井 照雄

古里地区の人口動態 古里地区 年少人口・生産年齢人口・老年人口の推移

平成31年(2019)4月1日現在



	昭和60年	平成1年	平成10年	平成20年	平成28年	平成31年
全 人 口	12,263	13,037	14,046	13,957	13,708	13,550
年 少 人 口 (率)	3,176 (25.9)	2,866 (22.0)	2,290 (16.3)	1,981 (14.2)	1,859 (13.6)	1,770 (13.1)
生産年齢人口 (率)	8,146 (66.4)	8,888 (68.2)	9,847 (70.1)	9,061 (64.9)	8,016 (58.5)	7,797 (57.3)
老 年 人 口 (高齢化率)	941 (7.7)	1,283 (9.8)	1,909 (13.6)	2,915 (20.9)	3,833 (28.0)	4,013 (29.6)

○年少者(0～14才) ○生産年齢者(15～64才) ○老年者(65才以上)

区の実態・状況に目を向けて 区別 年少人口・生産年齢人口・老年人口

平成31年(2019)4月1日現在

	古里地区	富 竹	金 箱	下 駒 沢	上 駒 沢	三 才	西 三 才	新 町	第二団地
全 人 口 (割合)	13,550 (100)	5,579 (41.2)	1,040 (7.7)	1,738 (12.8)	2,440 (18.0)	1,146 (8.5)	998 (7.4)	448 (3.3)	161 (1.2)
年 少 人 口 (率)	1,770 (13.1)	771 (13.8)	153 (14.7)	212 (12.2)	370 (15.2)	134 (11.7)	94 (9.4)	32 (7.1)	4 (2.5)
生産年齢人口 (率)	7,767 (57.3)	3,268 (58.6)	562 (54.0)	1,019 (58.6)	1,458 (59.8)	650 (56.7)	528 (52.9)	232 (51.8)	50 (31.1)
老 年 人 口 (高齢化率)	4,013 (29.6)	1,540 (27.6)	325 (31.3)	507 (29.2)	612 (25.1)	362 (31.6)	376 (37.7)	184 (41.1)	107 (66.5)
世 帯 数 (割合)	5,582 (100)	2,308 (41.3)	380 (6.8)	688 (12.3)	950 (17.0)	461 (8.3)	425 (7.6)	245 (4.4)	125 (2.2)

○長野市住民基本台帳の登録人口資料による。そのため、実数値と一致しない場合があります。○集計区分の区名と行政区と一致しない場合があります。

今後の行事予定

- 6月22日(土) ▶ ホタル観賞会が行われます。

時間19:30～20:30

集合場所: 北部レクリエーションスポーツパーク

田子川・土京川合流点(参加予定人数200人)

- 古里消防団が戸隠スキー場で実施される長野市消防団ポンプ操法大会に出場します。ことしは第4班(上駒沢消防団)が出場します。この日のために全員が一丸となって猛特訓をかさねています。区民の皆様のあたたかいご声援を宜しくお願いします。

- 7月 6日(土) ▶ 社会を明るくする運動講演会(古里市民センター)

- 8月 3日(土) ▶ 介護予防講演会古里市民センターで開催されます

- 毎月第3日曜日(原則)三才駅 ▶ サイまる君登場!!

